

<b>【技術の名称】</b> A-CIS 構法 安藤－ひび割れ誘発目地付き耐力壁構法－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 05-02 号 性能証明発効日：2005 年 5 月 10 日
	<b>【取得者】</b> 安藤建設株式会社

**【技術の概要】**

本技術は、日本建築学会「鉄筋コンクリート造のひび割れ対策指針」に示されたひび割れ誘発目地と同等の効果を付与することを意図し、鉄筋コンクリート造壁板の両表面側に設けた欠き込み目地と、それらの間を結ぶ位置に設けたひび割れ誘発材とを組み合わせ用い、耐力壁を構築する構法である。本技術の特徴は、鉄筋コンクリート造壁板内に、周囲のコンクリートと適切な付着絶縁性を有し、かつ、鉄筋コンクリート造耐力壁の耐荷機構に悪影響を及ぼさない平鋼を用いたひび割れ誘発材を配置している点である。

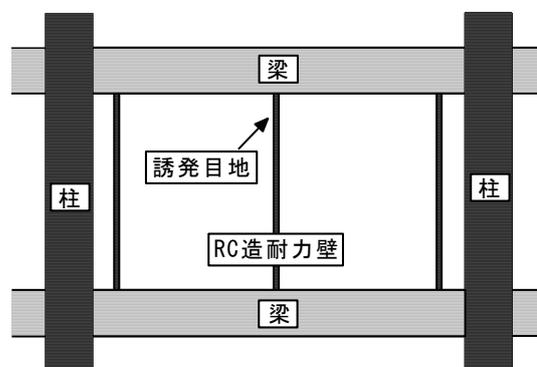
**【技術開発の趣旨】**

日本建築学会「鉄筋コンクリート造のひび割れ対策指針」では、鉄筋コンクリート造のコンクリート部分に生ずる有害なひび割れを低減するために、全壁厚さに対して 1/5 以上の欠損を有するひび割れ誘発目地を配置し、目地の溝底に適切な防水処置を施すことを推奨している。これに対して、目地欠損部の増加に伴い、鉄筋コンクリート造耐力壁の剛性および耐力の減少が懸念される。このような背景より、本構法は、適切な目地の効果を確保する一方で、目地を配置していない耐力壁と同等の剛性および終局耐力を確保することを意図して開発されている。

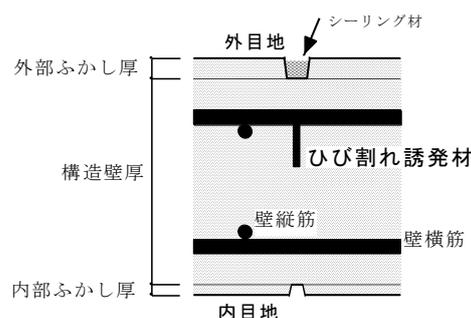
**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の A-CIS 構法によって構築されるひび割れ誘発目地付き耐力壁は、申込者提案の設計要領で示している終局耐力を有し、また、短期許容せん断力時に過大なひび割れ等の重大な損傷を起こさないと判断される。



誘発目地の配置



誘発目地の構造

**【本技術の問合せ先】**

安藤建設株式会社 技術研究所 担当者：松本智夫 E-mail：matsumoto-toshio@ando-corp.co.jp  
 〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央 1-19-61 TEL：049-267-3500（代表） FAX：049-266-6035